

広報

県遊協

山形県遊技業組合
TEL 023-615-6922
FAX 023-615-6923
yamagata@zennichiyure.n.or.jp

☆県遊協 5月理事会を開催

H 26年 5月 26日 於 組合会議室

【協議】

- ①平成26年度通常総会(案)の検討について
②平成26年度通常総会運営要領、役割分担(担当者指名)、各支部の出席割当について
③役員改選について
④次回理事会・通常総会の開催について



- ・平成26年6月18日(水)午後1時
・ホテルメトロポリタン山形5Fのぼり路
○通常総会
・平成26年6月18日(水)午後2時30分
・ホテルメトロポリタン山形4F霞城の間
※総会・総会祝賀会への多数の参加をお待ちしております。

☆全日遊連 全国理事会を開催

H 26年 5月 23日 於 第1ホテル東京

【協議等】

- ①理事長候補者の選出について
理事長候補には、東京都理事長の阿部恭久氏のみ立候補しており、理事会において理事長候補として選出されました。阿部氏は、来る6月24日開催の全日遊連通常総会において「全日遊連理事長」に選任されます。
②遊技システム特別委員会委員の選出について
理事長始め、執行部が確定する次回総会後に推薦指名することとし、見送られた。

- ③通常総会資料の検討について
平成25年度事業報告書・決算報告書の承認

- ④研修会等の補助規程について(2本立て)
○健全営業等研修 ○暴迫に関する研修

- ⑤ECO遊技機について

- ECO遊技機・ECOシステムに関する条件(案)を提示し、メーカーとの協議を促したい
⑥その他各委員会の開催結果の報告

☆県遊協通常総会開催日

- 6月18日(水)午後2時30分 通常総会
○6月18日(水)午後5時15分 総会祝賀会

☆ホテルメトロポリタン山形4F霞城の間
多数の参加をお待ちしております。

なお、今年も出席者にガソリン代を支給します。(ホールあたり一台分・山形市内は除き、地域により金額が異なります。)

やまがたパチンコ・パチスロカーニバル
☆7月19(土)・20(日)・21(海の日)

Advertisement for Yamagata Pachinko and Pachislot Carnival. Includes prize lists for A, B, and C courses, such as TVs, rice cookers, and various food items. Total price for 1 set is 68,000 yen.

◎人が集まる健康な業界に

リバーサイドポルトワーク代表 西村 直之氏

パチンコ・パチスロ業界は一つの村に例えることが出来ます。その村の住民は、村の文化(パチンコ・パチスロ)を愛しています。しかし愛想が尽きる日もある。統治者は、住民が出て行かないように囲いを作り、住民が好みの施策を実施します。ホールもメーカーも村の人を囲い込んで引き留めるのに躍起です。外に目が向いていないのです。隣の村の人から見れば、異様な印象を抱くでしょう。ふらっと訪れた人に対して独特の作法だといって身ぐるみを剥ぐようなことがあれば「あの村は怖い」という評判が千里を走ります。健康な村を作るには住民の健康を守りながら疲弊させないこと。村が発展するには、新しい人や文化の流入が必要なのです。現実の遊技業界は、若年層を取り込もうとゲームを複雑化させ、遊技者をよりマニアック化させています。これでは新しく始める人には敷居が高い。村の外の人を引き付けるといふ視点があれば、今までは全く異なる新しいコミュニティメントシーンが生まれる可能性があるのではないのでしょうか。(原文のまま掲載)

◎パチンコ依存問題電話相談

●昨年の相談件数は3364件

「2013年ばちんこ依存問題電話相談事業報告書」をまとめた。同報告書によると13年の相談件数は前年比1.6倍の3364件となり急増している。初めての相談者が2758件で82%を占めている。複数回は231件で7%。相談者は本人が84%、家族や友人が16%となっている。2011年が1027件、2012年が2060件だったことから急激に増加していることになる。代表の西村氏は、「ホール内のポスター掲示やポケットティッシュの配布などにより、情報がユーザーに届きやすくなった」という。相談の内容は、「やめる(辞めさせる)方法」の相談が圧倒的に多い。相談者は「自分に問題があると自覚している。また、遊技をしたいという気持ちを自制できない不安や罪悪感を持っている」と指摘している。

●2年連続で放置事故0を!

真夏日が出て気温が急上昇、ホール駐車場の放置事故が心配な季節到来である。一昨年までは5年連続で犠牲者を出し「緊急事態」だっただけに総力を挙げて2年連続の事故0を目指したい。

ホール5団体は、昨年共通の事故防止マニュアルを作成し、現場への徹底を図り、事故0を達成し、今年も2年連続を目指している。具体策として

- ①定期的な駐車場の巡回
②子供連れ入場禁止の表示
③店内放送や新聞折り込みチラシ等での告知
④従業員の訓練等安全教育の徹底



●6年間で233人を救出

昨年度の「子供事故未然防止事業報告書」では、子供の放置を28件発見し、37人を救出している。この6年間では、183件・233人となっている。

この6年間では、183件・233人となっている。内容を分析すると、発見数が多かった8月が6件(8人)、次いで7月が5件(7人)、5月が4件(4人)となっており、3ヶ月で53%(人数で51%)を占めており、暑い季節の警戒が必要であることが分かる。子供は、1歳以下が8人で、5歳以下では22人で全体の60%を占める。保護者は、父親が15人・母親が10人・両親2人であり、祖母や兄もあつた。保護者が現れないため、やむなく警察に通報した例も7件あつたという。



真夏日が出る季節になりました。2年連続事故0を目指して、子供の車内放置事故防止の特集を載せました。とにかく巡回が一番です。

編集後記

サクラノボの季節がやって参ります。この時期地域によって農繁期にあたり、お客様の足が遠のくところがあり心配しています。また、夏場に入り暑さで体調を崩す人もいます。しっかりと睡眠や食事を取り、体調管理に努めることが大切です。元気で爽やかにお客様を迎えたいものです。熊坂